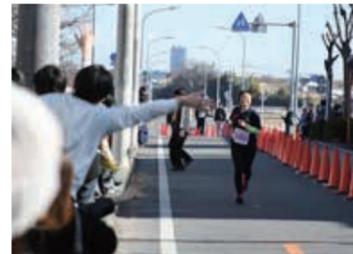




熱きランナーたちが タスキに想いを乗せて

第 57 回入間東部地区駅伝競走大会

2/1 (日)にプリケン presents 第 57 回入間東部地区駅伝競走大会が開催されました。富士見市・ふじみ野市・三芳町の 2 市 1 町の交流と、健康・体力づくりを目的とした今大会は 98 チームが参加。5 人のランナーがタスキを繋ぎ、寒さを吹き飛ばすような走りを披露してくれました。



↑ランナーだけでなく、熱い応援も今大会の見どころ。



県内初開催 「地方自治と子ども施策」

全国自治体シンポジウム 2025 三芳町

「子どもにやさしいまちづくり」を推進する三芳町は 2/7 (土)～8 (日)に「全国自治体シンポジウム 2025 三芳町」を開催。子ども施策のあり方やまち・コミュニティづくりの展望を見出すため、パネルディスカッションや自治体報告など、さまざまなプログラムで意見交換や交流が行われました。



↑オープニングで町の伝統芸能「お囃子」を子どもたちが披露。

東京 2025 デフリンピック 事前キャンプ受入れの功績が国際的に評価！

マレーシア全国デフスポーツ 表彰 2025 特別賞受賞

芳町は、2025 年 11 月 4 日から 14 日まで、東京 2025 デフリンピック大会マレーシア代表選手団の事前キャンプを受け入れ、交流を行いました。

このキャンプ期間中の貢献に加え、国際スポーツ交流の推進、ろう者コミュニティとの連携、そして共生社会の実現に向けた取組が高く評価され、「マレーシア全国デフスポーツ表彰 2025」で特別賞を受賞しました。本賞は、マレーシアの青少年スポーツ大臣がプレゼンターを務める格式ある表彰であり、マレーシア国外の受賞は三芳町が初、日本の自治体としても全国初の受賞です。



世界農業遺産 4 地域の 認定を祝って開催

世界農業遺産認定記念式典

2/5 (木)に農林水産省講堂で「世界農業遺産認定記念式典」が開催され、世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会会長の三芳町林伊佐雄町長が出席しました。この式典は、国連食糧農業機関 (FAO) から埼玉県武蔵野地域を含む国内 4 地域

に世界農業遺産認定証が授与されたことを記念し実施されたもので、各地域の展示ブースが設置され、全国に世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の魅力を発信しました。

←FAO から授与された認定証